

第12回 第1章 現代の政治

第4節 現代政治の特質と課題

講師

戦後政治と政党

相原義信

学習のねらい

現代の政治では、政党はどのような役割を果たしているのでしょうか。第二次世界大戦後の日本の政治は、どのように展開してきたのでしょうか。戦後の政党政治について学びましょう。

調べておこう
覚えておこう

与党／一党優位政党制（単独政権）／派閥／族議員／
内閣総理大臣／野党／55年体制／党議拘束／政権交代／
利益集団／マニフェスト／ねじれ国会／連立政権

※下記の空欄 _____ を「調べてみよう 覚えておこう」の語句で完成させましょう。

POINT 1

どんな政党があるの？

- 国会議員の多くが、政党に所属しています。政党というのは、同じ意見や利益をもつ人たちが集まり、政策を実現しようとする集団です。政党は、それぞれ理念や性格がことなり、めざす政治のあり方や基本政策がちがいます。
- 政党は、国民の意見や利益を整理、集約して政策にします。選挙で国民から多くの支持をえた政党が、国会で多数派を形成して、政権を担当する^① _____ となります。議院内閣制のもとで、与党の党首が国会で指名されて^② _____ になります。内閣は、与党の協力をえながら、政策の実現をはかっていきます。
- 政権を担わない^③ _____ は、与党や内閣の活動を監視したり、批判したりする役割があります。さらに、野党は、次の政権交代を準備し、選挙前に選挙公約や^④ _____ を発表するなど、与党に代わる別の政策を国民に提示する役割をもっています。

POINT 2

55年体制の時代

- 1955年に誕生した自由民主党と日本社会党を中心に展開した戦後政治のあり方を^⑤ _____ といいます。自民党は1993年に政権を離れるまで、一貫して政権を取り続けました。これを自民党の^⑥ _____ といいます。
- 与党である自民党の国会議員は、^⑦ _____ にしたがって、議決にのぞんでいました。法律案は、事前に自民党の政務調査会の部会で検討され、了承された法律案が国会に提出さ

れていました。

- 部会に所属して、特定の政策分野に大きな影響力をもつ政治家を^⑧ _____ といいます。族議員は、関連する省庁の官僚、^⑨ _____ とも密接な関係がありました。族議員、官僚、利益集団は「鉄の三角形」といわれる関係を作り上げ、55年体制では、利益誘導型の政治が展開していました。

POINT 3

政権交代と政党

- 戦後の衆議院選挙は、一つの選挙区から複数の議員を選出する中選挙区制で行われ、自民党の候補者同士が選挙を争い、^⑩ _____ が生まれました。そして、自民党内の派閥の力関係で内閣総理大臣が決まっていました。
- 自民党の一党優位政党制のもとで、「政治とカネ」の問題がたびたび起こり、1990年代に政治改革が進められました。政党間の^⑪ _____ が期待され、1993年に自民党政権ではない細川連立内閣が誕生し、55年体制は終わりました。
- 自民党は、1999年以降は、公明党などとの^⑫ _____ を続けました。2009年に政権交代が起こり、民主党中心の連立政権が成立しました。2012年に再び政権交代が起こり、自民党、公明党の連立政権が成立しています。政権与党は、衆議院、参議院の両方で多数となるように、連立を組みます。しかし、参議院で過半数に達しない場合を^⑬ _____ といいます。このようなときには、政策をすすめることが難しくなり、短命の内閣が続くことになりました。

- 答え
- ① 与党
 - ② 内閣総理大臣
 - ③ 野党
 - ④ マニフェスト
 - ⑤ 55年体制
 - ⑥ 一党優位政党制(単独政権)
 - ⑦ 党議拘束
 - ⑧ 族議員
 - ⑨ 利益集団
 - ⑩ 派閥
 - ⑪ 政権交代
 - ⑫ 連立政権
 - ⑬ ねじれ国会